

得度習礼案内

得 度 願



この冊子は、最後までよく読み、得度習礼には必ず持参してください。

僧 侶 養 成 部
〈得度習礼・教師教修担当〉

<2020年10月作成改訂版／2022年4月作成>

得度誓約（僧侶の心得）

「僧侶になろうとする者は、得度式に際し、次の各号に掲げる誓約を行わなければならない。」

ひとつ しゅうしんそうりょ ほんぶん まも べんがくふきょう おこた
一、終身僧侶の本分を守り、勉学布教を怠らないこと。

ひとつ わごう むね しゅうもん ちつじょ
一、和合を旨とし、宗門の秩序をみださないこと。

ひとつ ぶつとんほうしゃ せいかつ おく こころゆた しゃかい じつげん こうけん
一、仏恩報謝の生活を送り、心豊かな社会の実現に貢献すること。

浄土真宗本願寺派宗法第22条

得度習礼を受けるにあたって

☆「得度講習会」で習ったことをよく復習してください。

得度習礼では「得度講習会」の復習はおこないません。「得度講習会」で修得されたことは、出来るものとして習礼を進めます。

「浄土真宗本願寺派宗制」は、何度も読み直し、漢字は正しく書けるようにしてください。

また次の事項は必ず確実に出来るよう繰り返し練習してください。

- ① 「領解文」・「得度誓約（僧侶の心得）」・「浄土真宗の生活信条」の暗唱
- ② 正信念佛偈（草譜・行譜）・和讃六首（彌陀成佛から六首）の読誦
なお、正信念佛偈（草譜・行譜）は、暗唱できるようにしておくこと
- ③ 御文章（聖人一流章）の拝読
- ④ 衣体の着付け並びに五条袈裟の威儀の結び方・黒衣の畳み方
- ⑤ 焼香作法や一般作法（姿勢・合掌・礼拝・揖拝など）

理解度調査について

入所に際し、理解度調査（筆記試験）を実施いたします。

理解度調査を実施する目的は、得度講習会の復習と、得度習礼の予習がどれほどできているかを確認させていただき、講義・習礼を進めるうえでの参考にするものであります。必ず事前学習を行ってから、入所するようにしてください。

得度習礼要項

目 次

1. 目 的	1
2. 期 間	1
3. 得 度 式	1
4. 習礼内容	
(1) 仏道及び親鸞聖人のご苦勞に学ぶ	1
(2) 「基本的な技能及び知識」の確認と向上	1
(3) 僧侶の本分及び得度誓約に基づく僧侶としての自覚	1
(4) 勤行	2
(5) その他	2
5. 持 参 品	
(1) 入所受付時の提出物	3
(2) 経本・書籍	3
(3) 袈裟・法衣・法具	4
(4) その他必要な衣服について	5
(5) 剃髪に関する準備物	6
(6) その他	6
6. 剃髪について	6
7. 入所に際しての注意事項	
(1) 体調管理について	6
(2) 頭髪等について	6
(3) 来所時の服装及び装飾について	7
(4) 持参品について	7
(5) 受付・解散について	7
(6) その他	7
8. 得度習礼所 規則	
(1) 禁止事項	8
(2) 生活心得	8

得度習礼要項

1. 目 的

得度習礼は、得度講習会で修得した第6条第1項の規定による僧侶の要件についての確認と向上を図るとともに、得度式に関する事項について習礼する。

(得度式規程第17条)

※第6条第1項の規定による【僧侶の要件】

宗法第20条第2項の規定による僧侶の本分及び第22条の規定による得度誓約に基づく僧侶としての自覚並びに基本的な技能及び知識(以下「僧侶の要件」という。)を修得させるため実施する。

※宗法第20条第2項

僧侶は、仏祖に奉仕して、自行化他に専念し、この宗門及び本山、所属の寺院又は職務に従事する寺院の護持発展に努めなければならない。

2. 期 間

1 1日間 (得度式並びに本願寺御礼参拝含む)

3. 得 度 式

得度式とは、師弟同信の意をあらわし、宗門の僧侶としての誓約を結ぶ儀式である。

(宗法第21条)

※受式者は、男女とも受式直前に剃髪することを原則とします。

但し、女性は髪が顔や襟にかからないように整髪することで受式いただけます。

4. 習礼内容

(1) 仏道及び親鸞聖人のご苦勞に学ぶ

仏道及び親鸞聖人のご苦勞に学び、宗法第22条の規定による得度誓約とご親教「念仏者の生き方」に照らし、自己の生き方を問う習慣が芽生えることを目的として、旧蹟参拝や講義をおこないます。

(2) 「基本的な技能及び知識」の確認と向上

得度講習会での学びを前提として【僧侶の要件】の内、「基本的な技能及び知識」の確認と向上を図ることを目的とした講義をおこないます。

(3) 僧侶の本分及び得度誓約に基づく僧侶としての自覚

【僧侶の要件】である「宗法第20条第2項の規定による僧侶の本分及び第22条の規定による得度誓約に基づく僧侶としての自覚」を深めることを目的とした講義をおこないます。

(4) 勤 行

期間中は、晨朝勤行、日没勤行を班ごとに役配（調声人、導師など）を決めて「正信偈」「葬場勤行」「仏事勤行」などを実習いたします。

基本的に当番班ごとの習礼（練習）は行いませんので、講習会での学びを踏まえた事前学習をしっかりと行って入所してください。

この他に、午前の講義前には「浄土三部経」を読経し、就寝前には就寝勤行を行います。勤行は基本的に正座です。

(5) その他

次の御文は、講義の開始前や勤行時において暗唱していただきます。必ず入所までに暗唱出来るように練習しておいてください。

「領解文」

「得度誓約（僧侶の心得）」

「浄土真宗の生活信条」

「私たちのちかい」

「浄土真宗のみ教え」

☆「旧蹟参拝」について

得度習礼2日目に貸し切りバスにて、本願寺へ参拝した後、親鸞聖人の旧蹟参拝として青蓮院・比叡山を参拝します。

親鸞聖人のあゆみを実際に現場に一分(いちぶん)でも身をおき、体感することにより、真剣に仏法を求める自身の心構えを確認するとともに聖人の姿勢やご苦勞を学ぶことを目的として実施します。

全員参加を基本としますが、長時間のバスでの移動や、比叡山では山道を徒歩で移動をいたしますので、心身に不安のある方に対しては、医師の診断、指示に従い個別に対応いたします。

※巻末に「本願寺・旧蹟参拝行程表」を掲載しています。

5. 持 参 品

得度習礼に必要な持参品は、得度習礼所では販売しておりませんので入所前に確実に準備しておいてください。

※持参品に不備があった場合、入所をお断りする場合がありますので、必ず不備がないように準備してください。

(1) 入所受付時の提出物

提 出 物		備 考
1	健康診査票 (入所時提出用)	入所直前の体調をお知らせいただくため、必ず入所までに受診し提出してください
2	身 上 書	必要事項を記入のうえ提出してください
3	食物アレルギー 報告書	アレルギー食品、症状、対応について詳しく記入ください (食物アレルギーがない方も必ず提出してください)
4	雑 巾	1 枚

※「健康診査票（入所時提出用）」、「身上書」、「食物アレルギー報告書」は、入所20日前頃に発送いたします。

※戸籍抄本や住民票の記載事項に変更のある方は、必ず僧侶養成部まで申し出てください。変更事項の記載された書類を再提出していただきます。

(2) 経本・書籍

※得度習礼に必要な経本と書籍は、最新版をご用意ください。

	書 籍	発 行	本体価格	備 考
1	浄土真宗聖典（註釈版）	本願寺 出版社	5,200円	(原典版) (七祖篇) は得度習礼では使用いたしません
2	浄土真宗聖典 — 勤行集 —	〃	(大) 700円 (小) 500円	(大) はB6判、(小) はA6判です ※どちらかを持参
3	浄土真宗本願寺派 勤式集 (上・下)	〃	5,000円	勤式指導所 編集
4	浄土真宗本願寺派 葬儀勤行集	〃	1,000円	勤式指導所 編集
5	浄土真宗本願寺派 葬儀規範	〃	800円	勤式指導所 編集
6	浄土真宗本願寺派 法式規範	〃	3,400円	勤式指導所 編集

7	浄土真宗本願寺派 僧侶教本A	本願寺 出版社	2,400円	僧侶養成部・浄土真宗本願寺派総合 研究所 編集
8	書いて作る勤行聖典 ～正信偈～	〃	1,000円	浄土真宗本願寺派 僧侶養成部 企画
9	勤行聖典 浄土三部經	〃	2,600円	勤式指導所 編集
10	連研ノートE [改訂版]	〃	1,000円	門信徒教化部 編集
11	連研ノートE スタッフノート	〃	200円	門信徒教化部 編集
12	「念仏者の生き方」に学ぶ 伝灯奉告法要ご親教	〃	200円	浄土真宗本願寺派総合研究所 編集

〈2020年10月1日現在〉

※1～12の書籍は、本願寺出版社（Tel075-371-4171）にて購入できます。

13	改譜 正信偈和讃 (小本和讃)	参拝教化部	冥加金 2,300円	
----	--------------------	-------	---------------	--

※参拝教化部【本山担当】免物係（Tel075-371-5181<代表>）へお問い合わせください。

(3) 袈裟・法衣・法具

		備 考
1	墨輪袈裟	黒無地下藤白紋
2	墨 袈 裟	無地無紋
3	黒衣・石帯	無地無紋
4	布 袍	無地無紋
5	中 啓	竹黄染骨金銀無地 (得度用)
6	双輪念珠	白と黒の珠、白切房で麻房または綿房のもの (得度用)
7	単輪念珠	特に指定はありません

※念珠は紐が切れる場合があります。予備もご用意ください。

(4) その他必要な衣服等について

		備 考
1	白 衣	くるぶしまでの長さであること
2	白 襦 袢	女性は白地の <u>裾よけ</u> を着用すること
3	白 帯	マジックバンド・ひも付きのもの・サラシ製は使用不可
4	白 足 袋	コハゼのあるもの
5	俗 袴	紫色以外のもの
6	雪 駄	白鼻緒
7	下 着	下着類は白色に限る (<u>色物・柄物は不可</u>) シャツはえり元から見えないもの
8	寝 間 着	パジャマでも可
9	風 呂 敷	特に指定はありません (1枚)
10	健康保険証	期間中に疾病等により通院する場合に必要 (コピー不可)
11	印 鑑	書類の訂正などの場合に必要
12	入浴用品	石鹸、シャンプーなど ※洗面器は用意してあります
13	スリッパ	館内で使用
14	筆記用具	講義などで使用
15	筆 ペ ン	「正信偈書写」にて使用 中字 (1本)
16	整髪用品	ヘアピン、ヘアゴム、ヘアネットなど装飾されていない黒色のもの、整髪剤 (ジェル、ムースなど)、ドライヤー
17	洗濯用品	洗剤・ネット 洗濯機は用意してありますが、台数に限りがありますので複数人での使用をお願いしています
18	そ の 他	必要と思われるもの

※法衣・衣服につきましてはご自身の体格にあったものをご用意ください。

また、入所までにご自身で被着 (着付け) の確認を行ってください。

※法衣は夏衣を6月1日から、冬衣を10月1日から用い、5月中は夏・冬いずれの衣を着用し

てもさしつかえありません。入所される期に合った衣をご用意ください。

※得度式で着用する下着・白襦袢・白衣・白足袋は、得度習礼中に着用しない新しいものまたは洗濯したてのものを準備しておいてください。

(5) 剃髪に関する準備物

- ① 石鹸（10センチ程度の大きさの物）
 - ② 石鹸箱（10センチ程度の大きさの石鹸が入るフタのある物）
 - ③ タオル（薄手の物 男性：2枚、女性：1枚）
- ※石鹸及び石鹸箱は剃髪をしない女性も必要です。

(6) その他

- ① 70歳以上75歳未満の方は、「健康保険高齢受給者証」を持参してください。
- ② 75歳以上の方は、「後期高齢者医療被保険者証」を持参してください。

6. 剃髪について

- 女性は基本的には剃髪を行いませんが、えり剃りを行います。
なお、剃髪を希望される方は、入所までに僧侶養成部へ申し出てください。
- 剃髪は金属の剃刀を使用いたしますので、金属アレルギーのある方は、必ず健康診査票にその旨記入してください。
- 頭皮に疾患がある方、怪我をされている方、その他剃髪に注意が必要な方は健康調査票にその旨記載してください。また、必要に応じて事前に僧侶養成部までご相談ください。（医師の診断書の提出を求める場合があります）

7. 入所に際しての注意

(1) 体調管理について

- 得度習礼は11日間の集団生活です。大変厳しい習礼となりますので十分に体調を整えて入所してください。
- 医師より服用が指示されている薬は必ず持参してください。
- 総合感冒薬や湿布など必要と思われる常備薬は持参してください。
- 1月から3月までの得度習礼希望者につきましては、インフルエンザウイルスの感染予防および蔓延防止の観点から、予防ワクチンの接種をお願いします。ご事情により接種を受けられない方は、事前にお知らせください。

(2) 頭髪等について

- 男性の頭髪は、必ず1ミリ以下の丸刈りにして入所してください。
- 女性の頭髪は、前髪が動かない（たれない）ように、横は耳にかからないように、また、後髪はえり（輪袈裟）にかからないよう整髪して入所してください。整髪は、ヘアピン・ヘアゴム・ヘアネット（装飾されていない黒色のもの）を

使用してください（カチューシャ・ヘアクリップ・バレッタ等は使用できません）。

- パーマヘアーの方、ヘアカラー等（黒色を除く）を使用している方は入所できません。
- ひげ^{くちひげ}（口髭）、顎髭^{あごひげ}、頬髭^{ほおひげ}）を有する方は入所できません。

（３）来所時の服装及び装飾について

- 来所時は、必ず端正な服装でお越してください。
- 期間中は化粧（マニキュア・ペディキュア・頭髪、まつ毛等のエクステンションを含む）や装飾品（指輪・ピアス・ネックレス・ブレスレット等）の着用・使用は固く禁止しております。
- カラーコンタクトレンズ、サークルレンズの使用は禁止しております。

（４）持参品について

- 持参品には必ず名前を明記してください。
- 得度習礼所では物品の販売並びに購入代行は一切受け付けておりません。
- 荷物・衣体等の宅配便の受け取り及び発送は行っておりません。

（５）受付・解散について

- 受付 初日の午前８時１５分より午前８時４５分まで（時間厳守）
- 解散 最終日の午前１１時頃（状況により前後する場合があります）
- 場所 得度習礼所（裏表紙の地図参照）

（６）その他

- 宿泊部屋は５～１０人で１部屋を使用させていただきます。個室はありません。
- 期間中の行程は班単位で活動させていただきます。班は１０～１５名で構成します。
- 入所から解散までの期間は、外出、外泊、面会、電話の使用・取次はできません。
- 得度習礼前後日の宿泊施設の紹介並びに得度習礼所での宿泊はできません。
- 得度習礼所並びに本願寺西山別院境内への車両の乗り入れは、送迎を除き禁止です。また本願寺北境内地駐車場も駐車はできません。

８．得度習礼所 規則

得度習礼所では、その目的を達成するため下記の禁止事項及び生活心得を厳守すること。

(1) 禁止事項

次の事項を禁止とする。但し、止むを得ない理由がある場合は事務所にて許可を得て行うこと。

- ① 面会、電話の取次ぎ、外部への電話連絡
- ② 外出
- ③ 不要物（下記記載）の持ち込み
- ④ 許可された区域（食堂）以外での飲食
- ⑤ 許可された区域及び時間以外での喫煙

(2) 生活心得

- ① 研修道場であることを自覚し、生活すること。
- ② 集団生活であり、自己の判断での勝手な行動は慎むこと。
- ③ 常に整理整頓を心がけること。
- ④ 貴重品、金銭等は、宿泊部屋備え付けの金庫に保管すること。
なお金庫の開閉は2名以上で行うこと。
- ⑤ 水道光熱費及び備品にかかる経費は全て浄財であり節約を心がけること。
- ⑥ 講義、勤行など会場への移動は、静粛かつ迅速に行うこと。
- ⑦ 講義、勤行中は許可なしに遅刻もしくは退出をしないこと。
- ⑧ 体調の異変を感じたら速やかに指導員に申し出ること。

※上記の禁止事項に反する者、生活心得を守れない者には、得度習礼を停止し退所を命じることがあります。

（得度式規程第21条）

「総局は、習礼を受けている者が、規律に違反した場合又は僧侶として不相当と認めた場合は、その者の習礼を停止することができる。」

以 上

☆(1) 禁止事項③の不要物について

- 1、携帯電話等通信機器
- 2、パソコン
- 3、音楽等の再生機器、録音機器・録画機器・カメラなど
- 4、ゲーム機全般（ゲーム機能を有する電子機器類を含む）
- 5、得度習礼に不要な書籍（新聞・雑誌・漫画など）
- 6、医薬品以外の飲食物（のど飴以外の医薬部外品、健康補助食品などを含む）
- 7、その他得度習礼に不要と思われるもの

※止むを得ず持ち込まれた場合は、解散時まで所内金庫にて保管いたします。

得度願提出の注意事項

目 次

1. 得度式受式資格について	1
2. 出願について	
(1) 得度習礼期間と対象の確認	1
(2) 署名捺印	1
(3) 受付期間	1
(4) 締め切り	2
(5) 提出先	2
(6) 願記及び添付書類の完備	2
(7) 希望実施期の変更・延期	2
(8) その他	2
3. 提出書類について	2
(1) 得度願	2
(2) 誓約書・宣誓書	3
(3) 得度履歴書	3
(4) 健康診査票	3
(5) 戸籍抄本	3
(6) 住民票もしくは広域交付住民票	3
(7) 身分証明書	3
(8) 得度考査合格証	3
(9) 得度講習会修了証	4
4. 得度冥加・得度習礼費の納入について	6
5. 法名の内願について	6
6. その他	
(1) 入所許可通知	7
(2) 無届の欠席	7
(3) 一時的な傷病の方	7
(4) 心身に不安をお持ちの方、妊娠中の方について	7
(5) 改名について	7
(6) 宗派の転属	7

【記入例① 得度願】

【記入例② 履歴書】

得度願・誓約書・宣誓書・得度履歴書・健康診査票

1. 得度式受式資格について

得度式の受式を希望される場合は、得度講習会を受講し、得度考査に合格したうえで、「得度習礼」を修了しなければなりません。

※得度式を受けられない方

次に該当する方は得度式を受けることができません。

○宗法第23条によるところの者

・年齢15歳未満の者

ただし、後継の住職となるべき者で、特別の事由があるものは、年齢9歳以上で得度式を受けることができる。

・僧籍剥奪の懲戒処分を受け、宗則で定める復権の期間を経過しない者

・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、又は執行を受けることがなくなるまでの者

・心身の故障によりその職務を行うに当って必要となる認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者

・破産者で復権を得ていない者

○得度式規程（平成31年宗則第1号）第3条第2項によるところの者

・賦課金を滞納している寺院に所属している者

○僧侶規程第12条の2によるところの者

・他の宗派または浄土真宗本願寺派に包括されない寺院その他の宗教団体に所属している者

2. 出願について

(1) 得度習礼期間と対象の確認

○得度願を提出する際は「得度習礼期間・対象一覧」（別紙）にて実施期間並びに対象を必ず確認してください。（対象外での出願は受け付けることができません）

○「第1希望実施期」並びに「第2希望実施期」は必ず記入してください。

○中学・高校生を対象とする得度習礼は、8月及び3月に実施いたします。

○8月、9月、2月、3月の得度習礼は、特に希望者が多いため、早めに出願の準備をしてください。

(2) 署名捺印

記入された内容を確認のうえ、必ず本人が署名捺印ください。

(3) 受付期間

希望実施期の得度習礼開始日の1年前より、必要書類を完備した方の願記から先着順に受け付けます。

なお、得度希望者が30名に満たない期間の得度習礼は中止する場合があります。

(4) 締め切り

得度習礼開始日の40日前、または募集の定員に達し次第、願記の受付を締め切ります。先着順にて受付しますので、締切日までに定員に達した場合は第2希望期にて受付させていただきます場合があります。受理通知を発送しますので実施期を確認ください。

(5) 提出先

所属寺住職・組長を通じて所属教区の教務所へ提出してください。

(6) 願記及び添付書類の完備

出願に際しては、必要書類はすべて揃えて提出してください。

次の場合は受理することは出来ません。

- ① 書類の不備
- ② 住職代務及び兼務住職の任期が切れている場合
- ③ 無住職寺院となっている場合

手続中に上記のようなことが判明した場合は願記を返戻します。

(7) 希望実施期の変更・延期

出願後、希望実施期の変更・延期をされる場合は、早急に僧侶養成部まで連絡してください。願記の有効期限は1年間であるため、それ以上の変更・延期につきましては一旦取り下げの手続きをし、再度出願手続きをしていただきます。

※先に提出された書類並びに得度冥加は返戻します。

(8) その他

出願後、書類の記載事項に変更が生じた場合には、早急に僧侶養成部まで申し出てください。申し出がなく変更が判明した場合は、入所許可を取り消す場合があります。

3. 出願書類について

次の書類に必要な事項を楷書で丁寧に記入し、番号順に左綴じにして提出してください。

(1) 得度願

- 巻中綴込の『得度願』に必要な事項をすべて記入してください。
- 特に内願法名は丁寧に書きください。
- 希望実施日は、第1希望・第2希望の両方を必ず記入してください。
- 写真は上半身・無帽・無背景で、出願時より3ヶ月以内に正装にて撮影したものを貼付してください。

(2) 誓約書・宣誓書

- (1) の『得度願』の裏面をよく確認して本人が署名・押印してください。
- 年月日も必ず記入してください。

(3) 得度履歴書

- 巻中綴込の『得度履歴書』に必要事項をすべて記入してください。
- 「連絡先」は、受付後、入所に関する書類を送付いたしますので、確実に受け取ることができる住所をお書きください。

(4) 健康診査票

- (3) の『得度履歴書』の裏面を使用し、願記提出日過去30日以内に医療機関にて受診したものを提出ください。
- 願記受理後、内容により専門医の診断書の提出を求められることがあります。

(5) 戸籍抄本

- 得度習礼開始日より1年以内に市区町村長より発行されたもので、原本を提出してください。(コピー不可)

(6) 住民票もしくは広域交付住民票

- 住民票もしくは広域交付住民票のどちらかを提出してください。
- 必ず本人記載のものを提出してください。
- 得度習礼開始日より1年以内に市区町村長より発行されたもので、原本を提出してください。(コピー不可)

(7) 身分証明書

- 得度習礼開始日より1年以内に市区町村長より発行された、破産者で復権を得ていない者ではない旨の証明書の原本を提出してください。(コピー不可)

(8) 得度考査合格証

- 得度審査会発行のもので、原本を提出してください。(コピー不可)
- 合格証の有効期限は修了日より3年間です。

《得度考査免除者》

次のいずれかに該当する方は、得度考査を免除することができますので、当該事項を証明する書類を添付してください。

- ① 宗門に関係する大学及び高等学校のうち、総局が宗達で認定した学校を卒業した方で、当該学校が得度考査と同等以上の成績を修めたことを証明する方
- ② 仏教学院のうち、総局が宗達で認定した仏教学院を卒業した方及び在学中の方

で、仏教学院が得度考査と同等以上の成績を修めたことを証明する方
※証明書は当該教育機関から取得し、原本を提出してください。(コピー不可)
※免除の有効期限は、当該教育機関を卒業した日から3年間です。

《新制度移行に伴う経過措置》

2020(令和2)年3月31日時点において、旧規程による考査の免除対象であった学校、仏教学院等の卒業生・在學生は次の期間、考査の受験を免除します。

- 卒業生は2022(令和4)年3月31日まで
- 在學生は、卒業した日から2年間

※当該教育機関の在学証明書または、卒業証明書を添付してください。

【旧規程による考査の免除者】

- 1、宗門の設立した学校法人の経営する中学校卒業以上の学歴を有する者
- 2、本派及び真宗教団連合に所属する真宗他派の教育機関の卒業生・在學生で、前号と同等以上の学歴を有する者
- 3、中央仏教学院・東京仏教学院・行信教校・広島仏教学院の修了者・卒業生
- 4、中央仏教学院通信教育課程の修了者について
 - ①通信教育規程(昭和47年宗則第3号)により、1年間の課程を修了した者
[昭和47年度～51年度までの入学者：学籍番号上2桁72～76]
 - ②通信教育規程(昭和53年宗則第7号)により、資格課程(Aコース)・教養課程(Bコース)とも、1年間の課程を修了した者
[昭和52年度～58年度までの入学者：学籍番号上2桁77～83]
 - ③新制通信教育規程(昭和59年宗則第1号)により専修課程(3年間)の課程を修了した者 [昭和59年度以降の入学者：学籍番号上2桁84以降]

(9) 得度講習会修了証

- 受講機関発行のもので、原本を提出してください。(コピー不可)
- 修了証の有効期限は修了日より3年間です。

《得度講習会免除者》

次のいずれかに該当する方は、得度講習会を免除することができますので、当該事項を証明する書類を添付してください。

- ① 宗門に関係する大学及び高等学校のうち、総局が宗達で認定した学校を卒業した方で、当該学校が得度講習会と同等以上の教科課程を修得したことを証明する方
- ② 仏教学院のうち、総局が宗達で認定した仏教学院を卒業した方及び在学中の方で、仏教学院が得度講習会と同等以上の教科課程を修得したことを証明する
※証明書は当該教育機関から取得し、原本を提出してください。(コピー不可)
※免除の有効期限は、当該教育機関を卒業した日から3年間です。

《新制度移行に伴う経過措置》

◇ 2020(令和2)年3月31日時点において、中央仏教学院、東京仏教学院、広島仏教学院、行信教校の卒業生・在學生は、次の期間「得度講習会」の受講が免除されます。

● 卒業生は2022(令和4)年3月31日まで

● 在學生は、卒業した日から2年間

※平成25年度以前に仏教学院の研究科及び本科を卒業した方、予科を修了した方は講習会を受講する必要があります。

※当該仏教学院の発行する「得度習礼講習会修了証」の原本を提出してください。(コピー不可)

◇ 2020(令和2)年3月31日までに、既に「得度習礼講習会」を受講し、修了証の交付を受けている方は、新しく実施する講習会を受講する必要はありません

※交付された「得度習礼講習会修了証」の原本を提出してください。
(コピー不可)

※修了証の有効期限は修了証の交付の日から3年間です

《注意事項》

※提出書類は、マイナンバー制度の個人番号が記載されていないものをご提出ください。

◎マイナンバーの利用範囲は、法律で、社会保障、税、災害対策の3つの行政分野に限られております。

※8月並びに3月の【中学生・高校生対象得度習礼】を希望する方は、中学校・高等学校の「在学証明書」を必ず添付してください。なお、願記出願時より学年が変更になった場合は、得度式当日の学年が記載された「在学証明書」を再度提出してください。

※願記提出後、書類の記載事項に変更が生じた場合は、早急に僧侶養成部まで申し出てください。

4. 得度冥加・得度習礼費の納入について

	名 称	金 額	納 入 時 期
1	得 度 冥 加	50,000円	願記提出時
2	得 度 習 礼 費	150,000円	専用の振込用紙(入所許可通知とともに送付します)で、入所10日前までに振り込んでください。
3	特別納付(第2種賦課金)	7,800円	

(金額は2022年4月現在)

《注意事項》

1、得度冥加

- 所属教区の教務所に願記を提出する際に納入してください。
- 納入される際、「教区手数料」の納入が別途必要ですので、所属教区の教務所へお尋ねください。

2、得度習礼費、特別納付(第2種賦課金)

- 「得度習礼費・特別納付(第2種賦課金)」の専用の振込用紙は、入所関係書類として、入所日20日前に発送いたしますので、入所日の10日前までに振り込んでください。なお、得度習礼費は、途中退所されましても返戻できません。
- 特別納付(第2種賦課金)とは、4月2日以後において、新たに僧侶になった者に対して賦課するものです。

5. 法名の内願について

- ◇ 文字数は、必ず漢字2文字で申請してください。それ以外の法名は授与されません。
- ◇ 内願法名は「得度願」「得度履歴書」に同一の法名を楷書で丁寧にお書きください。
- ◇ 法名は必ず内願してください。「得度願」及び「得度履歴書」の記入欄が空欄の場合は書類不備となり受理できません。ふりがなも必ずご記入ください。
- ◇ 内願法名は申請後の変更は一切できません。

《注意》次の各号に関する字体は、内願法名で使用することができません。

1	宗祖親鸞聖人に関するもの
2	歴代本願寺住職(宗主)の法号又は法諱と同一のもの

3	歴代本願寺坊守(裏方)の法名と同一のもの
4	如の文字を用いたもの
5	鸞の文字を用いたもの
6	前各号のほか、本願寺内局が不相当と判断したもの

6. その他

(1) 入所許可通知

願記受付締め切り後、諸手続きのうえ、不備がなければ入所日の約20日前に「得度履歴書」の「連絡先（入所関係書類発送先）」宛に発送します。

(2) 無届の欠席

得度習礼初日の受付に無届けで欠席した場合、願記は無効になります。必ず事前に僧侶養成部までご連絡ください。

(3) 一時的な傷病の方

一時的な傷病の方（骨折や捻挫等により期間中に正座をすることが出来ない方含む）は入所を許可できません。完治してから入所するようにしてください。

(4) 心身に不安をお持ちの方、妊娠中の方について

心身に不安のある方は必ずかかりつけの医師に相談のうえ、事前に僧侶養成部へご相談ください。なお、妊娠中の方は研修内容に鑑み入所を許可できません。

(5) 改名について

戸籍上の名を、授与された法名に改めることができます。手続きにつきましては所属教区の教務所にお尋ねください。

(6) 宗派の転属

下記の宗派に属する僧侶が、本宗門に所属しようとするときは、別に得度式を行いません。但し、得度習礼は受講しなければなりません。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① 真宗大谷派 | ② 真宗高田派 | ③ 真宗仏光寺派 |
| ④ 真宗興正派 | ⑤ 真宗木辺派 | ⑥ 真宗出雲路派 |
| ⑦ 真宗誠照寺派 | ⑧ 真宗三門徒派 | ⑨ 真宗山元派 |

記入例①

得 度 願

総 局 御 中

教務所収状印	僧侶養成部収状印

このたび得度式を受けたく存じますので、御許可くださいますよう関係書類を添えてお願いします。

追って 京都 教区 下東 組 門前 (寺) 坊 衆徒に御差加えの上、

法名 釋 ○ ○ (ふりがな ○ ○ ○ ○) を御授与ください。
どちらかに○

必ず書類作成日を記入してください

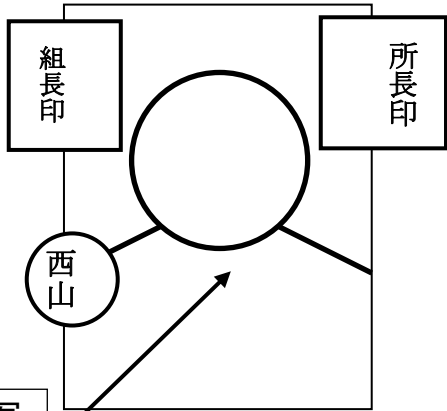
20●● 年 ●● 月 ●● 日
必ず記入してください

現住所 京都府京都市下京区堀川通
花屋町下ル門前町100番地

名 前 西山京子 (西)
(○ ○ 年 ○ 月 ○ 日生 ○ ○ 才)

希望実施期	第1希望	20●● 年 ●● 月
	第2希望	20●● 年 ●● 月

必ず第2希望まで記入してください



楷書でわかりやすく記入してください (本人記入)

本人捺印

必ず第2希望まで記入してください

所属寺住職 記入・押印

所属組組長 記入・押印

所属教区教務所長 記入・押印

僧侶養成部記入欄	
改名	受付

上記承認します。
 20●● 年 ●● 月 ●● 日

門前 寺 住 職・~~住職代務~~ 名 前 ○ ○ ○ ○ (西)
(どちらかを削除してください)

上記差支えありませんから奥印します。
 20●● 年 ●● 月 ●● 日

下東 組 組 長 名 前 ○ ○ ○ ○

上記進達します。
 20●● 年 ●● 月 ●● 日

京都 教区 教務所長 名 前 ○ ○ ○ ○

写真の裏面に名前を記入し、
 枠内に貼り付け、その上から
 それぞれ割印をしてください

必ず日付を記入してください

※ この裏面に『誓約書』並びに『宣誓書』があります。
 内容を熟読され、本人が署名・捺印してください。

記入例②

この欄は記入しないでください		年		月		得度履歴書		必ず書類作成日を記入してください	
		20●●年		●●月		●●日		現在	
寺院番号	1	4	0	3	9	9			
所属寺	京都 教区		下東 組		門前 (寺) / 坊				
住職 (住職代務)	西山 教行			住職		前任職の長女			
職分	(寺族)・門信徒			続柄		住職代務			
ふりがな	にしやま		きょうこ		ふりがな		○○○○		
名前	西山 (姓)		京子 (名)		内願法名		釋 ○ ○		
生年月日	○○年 ○月 ○日 ○○歳				性別		性別を記入してください		
ふりがな	きょうとふきょうとししもぎょうくほりかわどおりはなやちょうさがるもんぜんちょう								
現住所	〒 6 0 0 - 8 3 5 8		京都府京都市下京区堀川通花屋町下ル門前町100番地						
連絡先	〒 □ □ □ - □ □ □ □		現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください						
最終学歴	学校名	龍谷大学		学部・専攻等	文学部 日本文学科				
宗派の教育機関等 (上記以外)	●●●●年●●月		中央仏教学院通信教育専修課程修了		中央仏教学院の在學生は、クラスを記入してください				
職歴	●●●●年●●月より、京都市立○○中学校教諭。現在に至る。								
備考	なし								

名前は、戸籍通りの文字を楷書で正確に記入してください

法名のふりがなは、戸籍名と同じであっても必ず記入してください

性別を記入してください

法名は楷書で正確に記入してください。ただし、戸籍の名と同じ場合は、「戸籍に同じ」と記入してください

必ず連絡がとれる住所を記入してください。※特に学生の方は注意してください

各仏教学院の在學生並びに中央仏教学院の通信教育修了者は、その旨を記入してください

記入事項が無ければ、「なし」と記入してください

得 度 願

総 局 御 中

教務所収状印	僧侶養成部収状印

このたび得度式を受けたく存じますので、御許可くださいますよう関係書類を添えてお願いいたします。

追って_____教区_____組_____寺・坊 衆徒に御差加えの上、

法名 釋

--	--

 (ふりがな _____) どちらかに○ を御授与ください。

_____年 _____月 _____日 ※必ず記入してください

組長印	縦5cm×横5cm	所長印
本人印	最近3ヶ月以内の撮影	
	上半身	
	無帽	
	無背景	
	正装(学生服可)	
	(白黒・カラー不問)	

現住所 _____

名 前 _____ (印)
(_____年 _____月 _____日生 才)

希望実施期	第1希望	年	月
	第2希望	年	月

必ず第2希望まで記入してください

上記承認します。

_____年 _____月 _____日

_____寺 住 職・住職代務 名 前 _____ (印)
(どちらかを削除してください)

上記差支えありませんから奥印します。

_____年 _____月 _____日

_____組 組 長 名 前 _____ (印)

上記進達します。

_____年 _____月 _____日

_____教区 教務所長 名 前 _____ (印)

※ この裏面に『誓約書』並びに『宣誓書』があります。
内容を熟読され、本人が署名・捺印してください。

僧侶養成部記入欄	
改名	受付

誓約書

得度習礼所入所及び得度式を受けるにあたり、次の内容を堅く誓約します。

1、得度誓約(浄土真宗本願寺派宗法第22条)

- 一、終身僧侶の本分を守り、勉学布教を怠らないこと。
- 一、和合を旨とし、宗門の秩序をみださないこと。
- 一、仏恩報謝の生活を送り、心豊かな社会の実現に貢献すること。

2、得度願及び履歴書の記載事項に相違のないこと。

3、「得度習礼案内」に記載の諸規則を厳守すること。

年 月 日

必ず記入してください

本人 _____ (印)

宣誓書

私は、下記に掲げる事項の何れにも該当しないことを宣誓します。

- 一、僧籍剥奪の懲戒処分を受け、宗則で定める復権の期間を経過しない者
- 一、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- 一、心身の故障によりその職務を行うに当って必要となる認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 一、破産者で復権を得ていない者
- 一、他の宗派、又は浄土真宗本願寺派に包括されない寺院、その他の宗教団体に所属している者

年 月 日

必ず記入してください

本人 _____ (印)

年 月 得度履歴書						
				年	月	日現在
寺院番号						
所属寺	教区		組		寺/坊	
住職 (住職代務)	寺族・門信徒 ※どちらかに○		続柄	住職 前住職の 住職代務 ※該当するものに○を付けてください		
職分						
ふりがな			本人印	ふりがな		
名前	(姓)	(名)	印	内願法名	釋	
生年月日	年 月 日			歳	性別	
ふりがな						
現住所	〒□□□-□□□□					
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()					
ふりがな						
連絡先	〒□□□-□□□□					
入所関係書類発送先	()様方)←必要な場合のみご記入ください					
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()					
最終学歴	学校名			学部・ 専攻等		
	年 月 卒業・卒業見込 / ()学年在学中					
宗派の教育機関等 (上記以外)	中央仏教学院在学中の方のみ右に記入⇒ (クラス：本科 組・研究科 組)どちらかに○					
職歴						
備考						

※ この裏面に『健康診査票』があります。必ず医療機関で受診してください。

健康診査票（出願時提出用）

本人記入欄	教 区	組 名	寺 号	名 前	年 令
				ふりがな（ <input type="text"/> ）	
	<u>主な既往歴</u> （○をつけてください） <ul style="list-style-type: none"> 1 特になし 2 あり 病名（<input type="text"/>） 				
本人記入欄	<u>現在治療中の病気</u>				
	<ul style="list-style-type: none"> 1 特になし 2 あり 病名：（<input type="text"/>） 				
	<u>アレルギーの有無（食物・金属）</u>				
本人記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 1 特になし 2 あり 品名：（<input type="text"/>） 				
	<u>検尿</u> 蛋白（ <input type="text"/> ） 糖（ <input type="text"/> ） ウロビリ（ <input type="text"/> ）				
	<u>血压</u> _____ / _____ mmHg				
医師記入欄	<u>理学的所見</u>				
	<ul style="list-style-type: none"> 1 特に異常なし 2 軽度の異常あり（<input type="text"/>） 3 異常あり（<input type="text"/>） 				
	<u>1 1日間の得度習礼（集団生活）について</u>				
	<ul style="list-style-type: none"> 1 耐えられる見込み 2 不適 				
	<u>治療中の病気以外に入所時までに行う医療（観察・精密検査・治療）について</u>				
医師記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 1 不要 2 必要（<input type="text"/>） 				
	<u>医師所見、その他（病名等正確にご記入ください）</u>				
	_____ _____ _____				
医師記入欄	年 月 日 住 所・名 称				
	医師 名 前 _____ (印)				

診察される医師の方にお問い合わせ並びに留意事項

1. 得度習礼は厳しく、精神的・肉体的にかなりの負担があります。得度習礼(11日間)の集団生活については、基本日程を案内冊子の巻末に記載いたしておりますので必ずご参照ください。
2. この診査票は、入所者のおおまかな健康状態を把握するためのものであり、得度習礼期間中の事故・疾病に対して責任を負っていただくものではありません。

得度習礼基本日程

11日目	10日目	9日目	8日目	7日目	6日目	5日目	4日目	3日目	2日目	1日目
起床										
移動										
本願寺 晨朝参拝										
お斎										
大谷本願参拝										
得度習礼所 帰所										
荷物整理 清掃										
閉所式										
解散										
沐浴										
準備										
黙想										
移動										
本願寺 日没勤行参拝 得度式習礼										
得度式 記念撮影 本典授与式										
移動										
夕食										
最終日説明										
5:30										
5:50										
6:00										
6:20										
7:00										
7:30										
8:00										
8:30										
9:00										
9:30										
9:50										
10:30										
10:50										
11:00										
11:30										
12:00										
12:30										
13:00										
13:30										
14:00										
14:30										
15:00										
15:30										
16:00										
16:30										
17:00										
17:30										
18:00										
18:30										
19:00										
19:30										
20:00										
20:30										
21:00										
21:30										
22:00										
22:30										

起床 (5:30)

朝礼 (5:50~6:00) (健康状態確認) 於: 研修室

清掃奉仕 (6:00~6:20) 20分間 ※宿泊棟を中心に

勤行準備 お給仕 (6:20~6:50) 30分間

朝食 (7:00~7:30)

準備・休憩

集合・諸注意 (8:00~8:30)

朝食・休憩 (8:00~9:00) 1時間

晨朝勤行 (正信偈・六首引) (7:00~7:50) 50分間
4力所 (対面所、研修室、講堂、別院本堂)

浄土三部経誦経 (9:00~9:30) 30分間

準備 (9:30~9:50) 20分間

正信偈書写 (9:50~10:20) 30分

準備 (10:20~10:30) 10分間

真宗① 依経段 浄土三部経 (10:30~12:00) 1時間半

真宗② 依経段 七高僧 I (10:30~12:00) 1時間半

真宗③ 依経段 七高僧 II (10:30~12:00) 1時間半

真宗④ 正信偈のまとめ (10:30~12:00) 1時間半

御同朋の社会の実現をめざして (9:50~12:00) 2時間10分

私が歩む道 ~法義示談~ (9:50~12:00) 2時間10分

僧侶になるあなたへ「浄土真宗のみ教え」を
いただいたいて (9:50~10:50) 1時間

準備 (~11:00)

得度式習礼 (11:00~12:00)

解散

沐浴

準備

黙想

移動

本願寺
日没勤行参拝
得度式習礼

得度式
記念撮影
本典授与式

移動

夕食

最終日説明

入浴・休憩

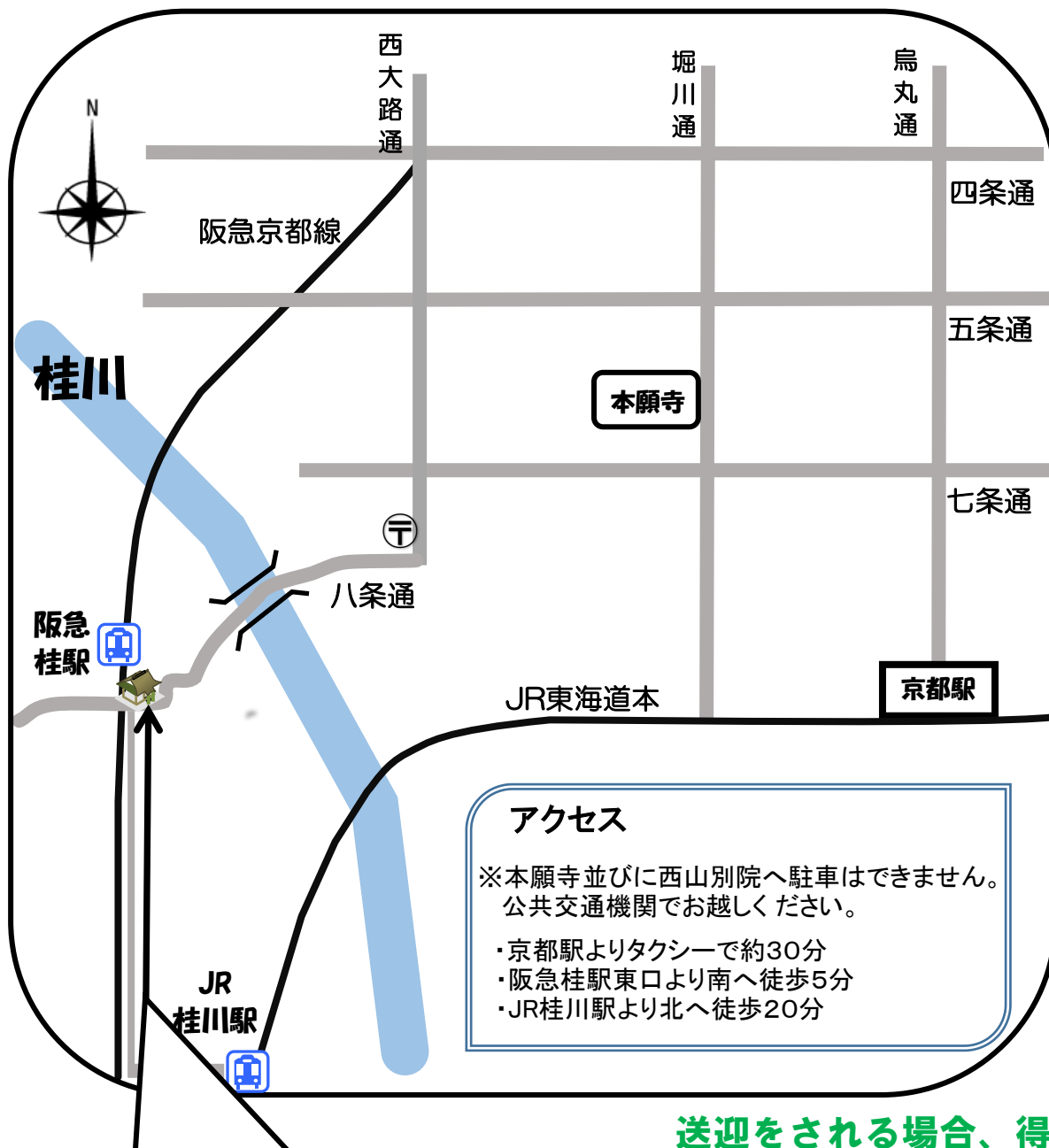
(20:30~22:00) 1時間半

就寝準備・消灯 (22:00~22:30)

本願寺・旧蹟参拝行程表

行 程	
8:00	対面所集合・諸注意
8:30	得度習礼所 発
	バス
9:00	本願寺 着
	沿革説明・勤行
9:30	本願寺 発
	バス
10:00	青蓮院 着
	宸殿（得度の間） 植髪堂
10:45	青蓮院 発
	バス
11:30	東塔駐車場 着
	徒歩
12:00	延暦寺会館 着
	昼食
13:00	延暦寺会館 発
	徒歩
	根本中堂
	徒歩
	大講堂
	徒歩
	浄土院
	徒歩
14:45	東塔駐車場 発
	バス
15:00	西塔駐車場 着
	徒歩
15:30	常行堂・法華堂(にない堂)
	釈迦堂
	徒歩
16:30	西塔駐車場 発
	バス
18:00	得度習礼所 着
	日没勤行（重誓偈）
18:30	夕食

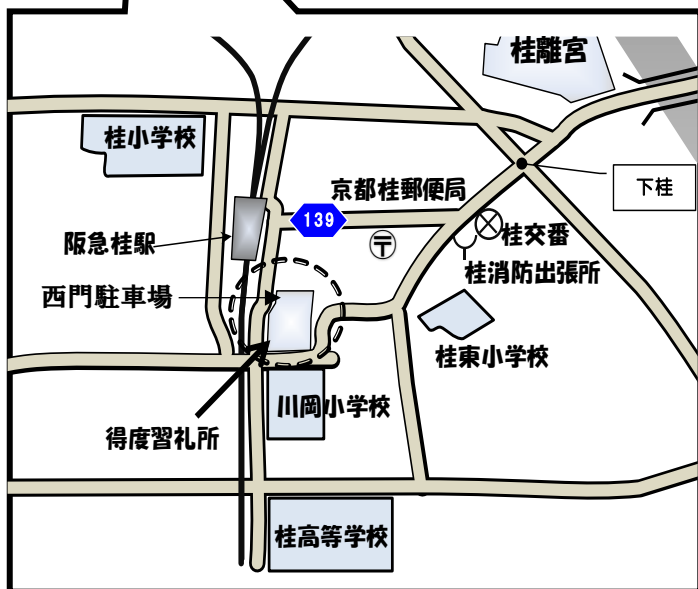
習礼教修所案内地図



アクセス

※本願寺並びに西山別院へ駐車はできません。
公共交通機関でお越しください。

- ・京都駅よりタクシーで約30分
- ・阪急桂駅東口より南へ徒歩5分
- ・JR桂川駅より北へ徒歩20分



送迎をされる場合、得度習礼所の南側道路は下記時間帯通行止めとなりますので西門駐車場をご利用ください。

平日 朝：8時～9時
昼：1時～3時

得度習礼所(研修道場)

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町29
本願寺西山別院内
TEL 075-381-2236
FAX 075-391-1009

<問い合わせ先>

僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>

〒600-8501

京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町

浄土真宗本願寺派宗務所

TEL 075-371-5181 (代) FAX 075-351-1372

得度習礼所

〒615-8107

京都市西京区川島北裏町29

本願寺西山別院内

TEL 075-381-2236 (代) FAX 075-391-1009

教 区	組	寺・坊	名 前